IFU

PTO/SB/21 (08-00) Approved for use through 10/31/2002. OMB 0651-0031
U.S. Patent and Trademark Office: U.S. DEPARTMENT OF COMMERCE e type a plus sign inside this box Under the Paperwork Reduction Act of 1995, no persons are required to respond to a collection of information unless it displays a valid OMB control number. **Application Number** 10/790.247 **TRANSMITTAL** March 2, 2004 Filing Date **FORM** Kiyoshi YONEDA First Named Inventor **Examiner Name** (to be used for all correspondence after initial filing) Not Yet Assigned Group Art Unit 2879 Total Number of Pages in This Submission Attorney Docket No. 492322016600 ENCLOSURES (check all that apply) Assignment Papers After Allowance Communication Fee Transmittal Form (for an Application) to Group Appeal Communication to Board of Fee Attached Drawing(s) Appeals and Interferences Appeal Communication to Group Amendment/Reply Licensing-related Papers (Appeal Notice, Brief, Reply Brief) Petition After Final **Proprietary Information** Petition to Convert to a Provisional Affidavits/declaration(s) Status Letter Application Power of Attorney, Revocation Other Enclosure(s) Extension of Time Request Change of Correspondence Address (please identify below) **Express Abandonment Request** Terminal Disclaimer Information Disclosure Statement Request for Refund Certified Copy of Priority CD, Number of CD(s) Document(s) Response to Missing Parts/ Incomplete Application Remarks Response to Missing Parts under 37 CFR 1.52 or 1.53 SIGNATURE OF APPLICANT, ATTORNEY, OR AGENT Firm **MORRISON & FOERSTER LLP** Barry E. Bretschneider -28,055 Individual Name Signature

Date

August 13, 2004



Docket No.: 492322016600

THE THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Kiyoshi YONEDA

Application No.: 10/790,247

Group Art Unit: 2879

Filed: March 2, 2004

Examiner: Not Yet Assigned

For: ELECTROLUMINESCENT DISPLAY DEVICE

CLAIM FOR PRIORITY AND SUBMISSION OF DOCUMENTS

Commissioner for Patents 2011 South Clark Place Room 1B03, Crystal Plaza 2 Arlington, Virginia, 22202

Sir:

Applicant hereby claims priority under 35 U.S.C. 119 based on the following prior foreign applications filed in the following foreign country on the dates indicated:

Country	Application No.	Date		
Japan	2003-055333	March 3, 2003		
Japan	2004-028951	February 5, 2004		

In support of this claim, certified copies of the original foreign applications are filed herewith.

Dated: August 13, 2004

Respectfully submitted,

Barry E. Bretschneider

Registration No.: 28,055

MORRISON & FOERSTER LLP

1650 Tysons Blvd, Suite 300

McLean, Virginia 22102

(703) 760-7743

日本国特許庁 JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application:

2003年 3月 3日

出 願 番 号 Application Number:

特願2003-055333

[ST. 10/C]:

[JP2003-055333]

出願人 .pplicant(s):

三洋電機株式会社

CERTIFIED COPY OF PRIORITY DOCUMENT

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office 今井康

2月27日

2004年



【書類名】

特許願

【整理番号】

RSL1030013

【提出日】

平成15年 3月 3日

【あて先】

特許庁長官殿

【国際特許分類】

G09F 9/30

H05B 33/04

【発明者】

【住所又は居所】

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三洋電機株式会

社内

【氏名】

米田 清

【特許出願人】

【識別番号】

000001889

【氏名又は名称】

三洋電機株式会社

【代理人】

【識別番号】

100107906

【弁理士】

【氏名又は名称】

須藤 克彦

【電話番号】

0276-30-3151

【選任した代理人】

【識別番号】

100091605

【弁理士】

【氏名又は名称】

岡田 敬

【手数料の表示】

【予納台帳番号】

077770

【納付金額】

21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】

明細書 1

【物件名】

図面 1

【物件名】

要約書 1

【包括委任状番号】 9904682

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 エレクトロルミネッセンス表示装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の画素を備え、各画素は、アノード層と、このアノード層上にエレクトロルミネッセンス層を間に挟んで形成されたカソード層とを有し、前記エレクトロルミネッセンス層は、発光波長の異なる複数の発光層を含み、前記複数の発光層を発光波長の短い順番に、発光出力側に配置したことを特徴とするエレクトロルミネッセンス表示装置。

【請求項2】 前記エレクトロルミネッセンス層から放出される光が通過するカラーフィルター層を有することを特徴とする請求項1記載のエレクトロルミネッセンス表示装置。

【請求項3】 複数の画素を備え、各画素は、絶縁性基板上に形成されたカラーフィルター層と、このカラーフィルター層上に形成された透明電極から成るアノード層と、このアノード層上にエレクトロルミネッセンス層を間に挟んで形成されたカソード層とを有し、

前記エレクトロルミネッセンス層は、発光波長の異なる複数の発光層を含み、 前記複数の発光層を発光波長の短い順番に前記アノード側に配置したことを特徴 とするエレクトロルミネッセンス表示装置。

【請求項4】 前記複数の発光層は、青色発光層及び黄色発光層であり、 前記青色発光層を前記アノード側に配置したことを特徴とする請求項3記載のエレクトロルミネッセンス表示装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】

本発明は、エレクトロルミネッセンス表示装置に関し、特に白色光を発光する 白色発光層を備えたエレクトロルミネッセンス表示装置に関する。

[0002]

【従来の技術】

近年、有機エレクトロルミネッセンス素子 (Organic Electro Luminescence D

evice:以下、「有機EL素子」と称する。)は自発光型の発光素子である。この有機EL素子を用いた有機EL表示装置は、CRTやLCDに代わる新しい表示装置として注目されている。

[0003]

図5は、従来例のフルカラーの有機EL表示装置の一画素を示す概略の断面図である。200はガラス基板、201はガラス基板200上に形成された有機EL素子駆動用のTFT、202は第1平坦化絶縁膜である。203はTFT201に接続されると共に、第1平坦化絶縁膜202上に延在するITOから成るアノード層、204はアノード層203の端部を被覆するように形成された第2平坦化絶縁膜、205は、アノード層203上に形成されたRGB各色の有機EL層、206は有機EL層205上に形成されたカソード層である。

$[0\ 0\ 0\ 4]$

その上をガラス基板207で覆い、そのガラス基板207とガラス基板200 を両基板の周辺で接着して有機EL層205をその内側に封入する。ここで、R GB各色の有機EL層205は、メタルマスクを用いてR、G、Bの各色を発光 する有機EL材料を選択的に蒸着することで形成していた。

[0005]

一方、上記のようにRGB各色の有機EL層205を用いることなく、フルカラーの有機EL表示装置を実現する方法として、白色光を発光する白色発光層とカラーフィルター層を組み合わせる構成が提案されている。

[0006]

図6は、そのような有機EL表示装置の構造を示す断面図である。ガラス基板 1上にSiO₂等から成る絶縁膜2が形成され、その中にカラーフィルター層3 が形成されている。そして、その上方に透明電極であるITOから成るアノード 層4が形成されている。アノード層4上には、電子輸送層(HTL)5、白色発 光層6、ホール輸送層7、Alから成るカソード層8がこの順に積層されている 。白色発光層6は、青色光を発光する青色発光層6aと黄色光を発光する黄色発 光層6bが積層されなり、青色光と黄色光が合成されて白色光が発生される。

[0007]

そして、有機EL素子駆動用のTFT(不図示)を通して、アノード層4からカソード層8に電流を流すことにより、白色発光層6から白色光が発生され、アノード層4、カラーフィルター層3及びガラス基板1を通して外部に放出される。したがって、画素毎にRGB各色のカラーフィルター層3を形成することで、フルカラーの表示を得ることができる。

[0008]

この種の有機EL表示装置は、下記の特許文献1に記載されている。

[0009]

【特許文献1】

特開平8-321380号公報

[0010]

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、図6のように、アノード層4上に黄色発光層6b、青色発光層6aをこの順番で形成すると、青色発光層6aから発生される青色光は、主として黄色発光層6b、電子輸送層5、アノード層4を通過してカラーフィルター3に到達することになる、しかしながら青色光は、黄色光に比して短波長であるため、カラーフィルター3へ至る上記中間層で吸収されやすい。このため、発光効率が悪化するという問題があった。

 $[0\ 0\ 1\ 1]$

【課題を解決するための手段】

そこで、本発明の有機EL表示装置は、複数の画素を備えており、各画素は、アノード層と、このアノード層上にエレクトロルミネッセンス層を間に挟んで形成されたカソード層とを有している。そして、そのエレクトロルミネッセンス層は、発光波長の異なる複数の発光層を含み、これらの複数の発光層を発光波長の短い順番に発光出力側に配置したことを特徴とする。

 $[0\ 0\ 1\ 2]$

これにより、短波長の発光層から発生した光の吸収が減少するため、発光効率が向上する。

[0013]

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施形態に係る有機EL表示装置について図面を参照しながら詳細に説明する。図1は、この有機EL表示装置を示す断面図である。図において、一画素内の有機EL素子とカラーフィルター層を中心に示しており、有機EL素子駆動用TFTや画素選択用TFT等の図示は省略されている。また、図6と同一の構成部分については同一の符号が付されている。

[0014]

この有機EL表示装置では、白色発光層 6 'は青色発光層 6 a 及び黄色発光層 6 b を積層して構成している。そして、短波長の青色光を発生する青色発光層 6 a をアノード層 4 側に形成し、その上に比較的長波長の黄色光を発生する黄色発光層 6 b を配置した。これにより、青色発光層 6 a から発生した青色光は黄色発光層 6 b を通過することなくカラーフィルター 3 へ到達する。一方、黄色発光層 6 b から発生した黄色光は青色発光層 6 a を通過することになるが、黄色光は青色光に比して波長が長いため、その吸収は比較的少ない。したがって、青色光の吸収が減少するため発光効率を向上できる。

$[0\ 0\ 1\ 5]$

次に、さらに具体的な有機EL表示装置の構成について説明する。図2は有機EL表示装置の表示画素付近を示す平面図である。図3は、図2中のA-A線に沿った断面図、図4は図2中のB-B線に沿った断面図である。

$[0\ 0\ 1\ 6]$

ゲート信号線51とドレイン信号線52とに囲まれた領域に表示画素115が 形成されており、マトリクス状に配置されている。

$[0\ 0\ 1\ 7]$

この表示画素115には、自発光素子である有機EL素子60と、この有機EL素子60に電流を供給するタイミングを制御するスイッチング用TFT30と、有機EL素子60に電流を供給する駆動用TFT40と、保持容量56とが配置されている。有機EL素子60は、アノード層61と、白色の発光材料からなる白色発光層63と、カノード層65を有している。白色発光層63の構成については後述する。

[0018]

両信号線51,52の交点付近にはスイッチング用TFT30が設けられ、そのTFT30のソース33sは保持容量電極線54との間で容量をなす容量電極55を兼ねると共に、駆動用TFT40のゲート41に接続されている。駆動用TFT40のソース43sは有機EL素子60のアノード層61に接続され、他方のドレイン43dは有機EL素子60に供給される電流源である駆動電源線53に接続されている。

[0019]

この有機EL表示装置の断面構造を図3,図4を参照して説明する。 まず、スイッチング用TFT30の構造について説明する。図3に示すように、石英ガラス、無アルカリガラス等からなる透明な絶縁性基板10上に、非晶質シリコン膜(以下、「a-Si膜」と称する。)をCVD法等にて成膜し、そのa-Si膜にレーザ光を照射して溶融再結晶化させて多結晶シリコン膜(以下、「p-Si膜」と称する。)とし、これを能動層33とする。

[0020]

その上に、 SiO_2 膜、SiN膜の単層あるいは積層体をゲート絶縁膜 12として形成する。更にその上に、Cr、Moなどの高融点金属からなるゲート電極 31を兼ねたゲート信号線 51及びA1から成るドレイン信号線 52を備えている。また有機 EL素子 60の駆動電源であり、A1から成る駆動電源線 53が配置されている。

[0021]

そして、ゲート絶縁膜 32 及び能動層 33 上の全面には、 SiO_2 膜、SiN 膜及び SiO_2 膜の順に積層された層間絶縁膜 15 が形成されており、ドレイン 33 d に対応して設けたコンタクトホールに A1 等の金属を充填したドレイン電極 36 が設けられ、更に全面に有機樹脂から成り表面を平坦にする第 1 平坦化絶縁膜 17 が形成されている。

[0022]

次に、駆動用TFT40の構造について説明する。図4に示すように、石英ガラス、無アルカリガラス等からなる透明な絶縁性基板10上に、a-Si膜にレ

ーザ光を照射して多結晶化してなる能動層 4 3 、ゲート絶縁膜 1 2 、及び C r 、 M o などの高融点金属からなるゲート電極 4 1 が順に形成されている。

[0023]

能動層 4 3 には、チャネル 4 3 c と、このチャネル 4 3 c の両側にソース 4 3 s 及びドレイン 4 3 d が設けられている。そして、ゲート絶縁膜 1 2 及び能動層 4 3 上の全面に、S i O 2 膜、S i N 膜及び S i O 2 膜の順に積層された層間絶縁 膜 1 5 が形成されている。また、ドレイン 4 3 d に対応して設けたコンタクトホールに A 1 等の金属を充填して駆動電源に接続された駆動電源線 5 3 が配置されている。

[0024]

そして、駆動用TFT40に隣接して、層間絶縁膜15上にカラーフィルター層70が形成されている。カラーフィルター層70は、表示画素毎に、RGBの分光特性を有するように形成されている。例えば、Rの画素ではRED(赤)の分光特性を有するカラーフィルター層70が形成される。

[0025]

更に全面に例えば有機樹脂から成り表面を平坦にする第1平坦化絶縁膜17が 形成されている。そして、その第1平坦化絶縁膜17のソース43sに対応した 位置にコンタクトホールを形成し、このコンタクトホールを介してソース43s とコンタクトしたITOから成る透明電極、即ち有機EL素子のアノード層61 を平坦化絶縁膜17上に設けている。このアノード層61はカラーフィルター層 70上に配置され、各表示画素毎に島状に分離形成されている。

[0026]

第1平坦化絶縁膜17上にはさらに第2平坦化絶縁膜66が形成され、アノード層61の端部を被覆すると共に、アノード層61上の発光領域については第2平坦化絶縁膜66が除去された構造としている。

[0027]

有機EL素子60は、ITO(Indium Tin Oxide)等の透明電極から成るアノード層61、NPBから成るホール輸送層62、白色発光層63、及びAlq3から成る電子輸送層64、マグネシウム・インジウム合金もしくはアルミニウム

、もしくはアルミニウム合金から成るカソード層65が、この順番で積層形成された構造である。ここで、白色発光層63は、青色発光層63a及び黄色発光層63bが積層されてなり、青色発光層63aがアノード層61に近い側に配置されている。青色発光層63aはZn(BOX)2から成り、その正式名称はビス((2-ヒドロキシフェニル)ベンゾオキサゾイル)亜鉛である。黄色発光層63bは、NPB(ホスト)に黄色ドーパントであるルブレンを添加したものである。NPB(ホスト)の正式名称は、N,N'ーDi(naphtalene-1-yl)-N,N'ーdiphenyl-benzidineである。そして、カソード層65はガラス基板207によって覆われる。

[0028]

有機EL素子60は、アノード層61から注入されたホールと、カソード層65から注入された電子とが白色発光層63の内部で再結合し、白色発光層63を形成する有機分子を励起して励起子が生じる。この励起子が放射失活する過程で白色発光層63から青色光及び黄色光が放たれ、これらの光が合成されて白色光となり、透明なアノード層61から絶縁基板10を介して外部へ放出されて発光する。

[0029]

このとき青色発光層63aはアノード層61に近い側に配置されているので、 青色発光層63aから発生した青色光は、ホール輸送層62、アノード層61、 第1平坦化絶縁膜17を通して、カラーフィルター層70に到達し、このカラー フィルター層70でフィルタリングされた後に、絶縁性基板10を通して外部に 放出される。

[0030]

青色発光層 6 3 a から発生した青色光は黄色発光層 6 3 b を通過することなくカラーフィルター 7 0 へ到達する。一方、黄色発光層 6 3 b から発生した黄色光は青色発光層 6 3 a を通過することになるが、黄色光は青色光に比して波長が長いため、その吸収は比較的少ない。したがって、青色光の吸収が減少するため発光効率を向上できる。

[0031]

なお、上記の実施形態では、波長の異なる2種類の発光層(青色発光層63a 及び黄色発光層63b)について説明したが、本発明の概念を一般化すれば、発 光波長の異なる複数の発光層に適用されるものである。つまり、これらの複数の 発光層を発光波長の短い順番に、発光出力側に配置すれば、波長の短い光の吸収 を最小限に抑えることができることになる。

[0032]

【発明の効果】

本発明によれば、有機EL表示装置の有機EL発光層が発光波長の異なる複数の発光層で構成される場合に、光の吸収を最小限に抑え、発光効率を向上することができる。特に、白色の有機EL発光層(青色発光層+黄色発光層)とカラーフィルター層を組み合わせた有機EL表示装置に適用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施形態に係る有機EL表示装置の断面図である。

【図2】

本発明の実施形態に係る有機EL表示装置を示す平面図である。

【図3】

図3中のA-A線に沿った断面図である。

【図4】

図3中のB-B線に沿った断面図である。

【図5】

従来例の有機EL表示装置の断面図である。

【図6】

従来例の有機EL表示装置の断面図である。

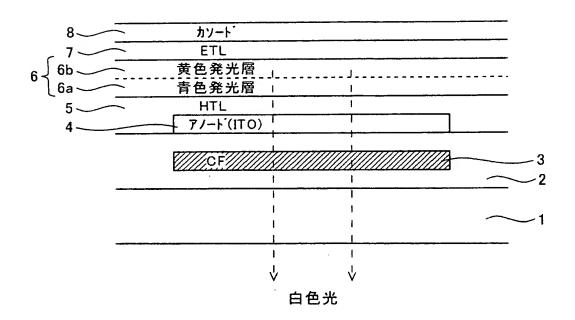
【符号の説明】

1	絶縁性基板	2	絶縁膜	3	カラー	- フィルター層
4	アノード	5	ホール輸送層	6,	6'	白色発光層
6 8	a 青色発光層	6 k	黄色発光層	7	電子輔	济送層
8	カソード層	1 ()	1 2	ゲー	- ト絶縁瞳

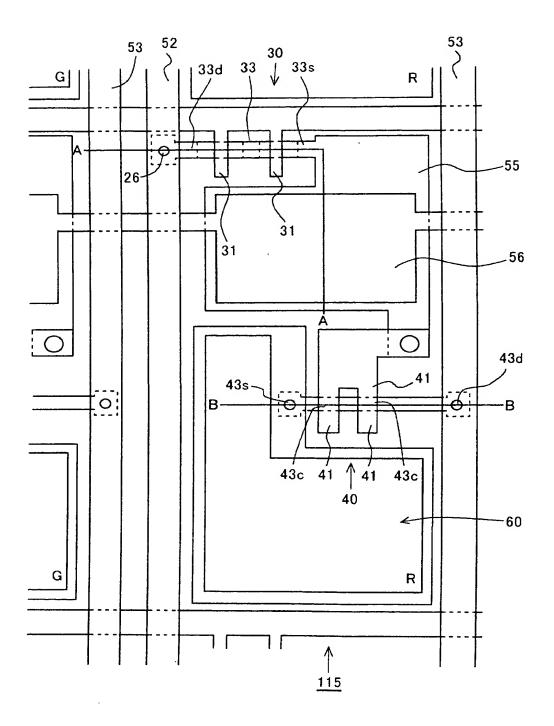
1 5	層間絶縁膜	1 7	第1平坦化絶縁膜		
3 0	スイッチング用TF	T		3 1	ゲート電極
3 2	ゲート絶縁膜	3 3	能動層	3 6	ドレイン電極
4 0	駆動用TFT	4 1	ゲート電極	4 3	能動層
5 1	ゲート信号線	5 2	ドレイン信号線	5 3	駆動電源線
5 4	保持容量電極線	5 5	容量電極	5 6	保持容量
6 0	有機EL素子	6 1	アノード層	6 2	ホール輸送層
6 3	白色発光層	6 3 a	a 青色発光層	6 3 I	b 黄色発光層
6 4	電子輸送層	6 5	カソード層	6 6	第2平坦化絶縁膜
. 7 0	カラーフィルター層	3			

【書類名】 図面

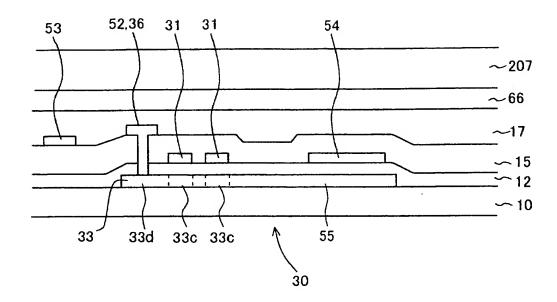
【図1】



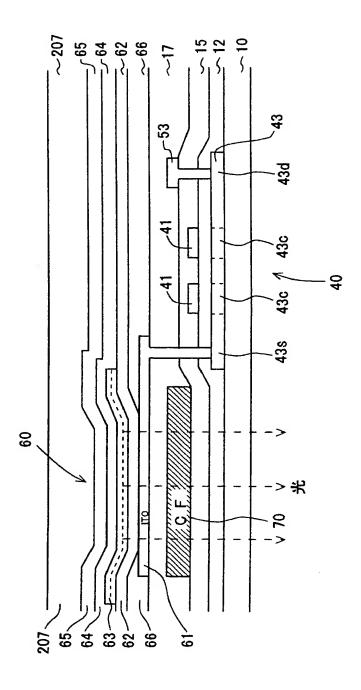
【図2】



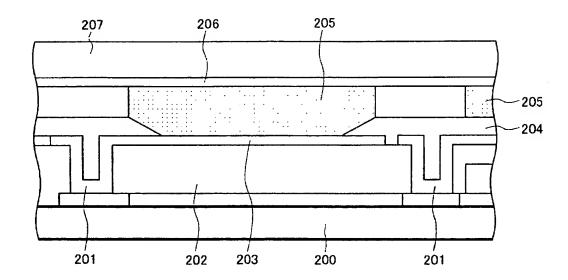
【図3】



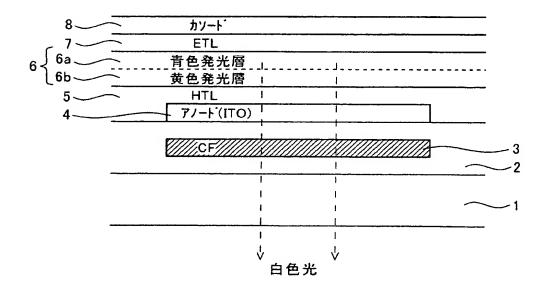
【図4】



【図5】



【図6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】白色の有機EL素子の発光効率を向上する。

【解決手段】有機EL素子の白色発光層 6'は、青色発光層 6 a 及び黄色発光層 6 b を積層して構成している。短波長の青色光を発生する青色発光層 6 a をアノード層 4 側に形成し、その上に比較的長波長の黄色光を発生する黄色発光層 6 b を配置する。これにより、青色発光層 6 a から発生した青色光は黄色発光層 6 b を通過することなくカラーフィルター 3 へ到達する。一方、黄色発光層 6 b から発生した黄色光は青色発光層 6 a を通過することになるが、黄色光は青色光に比して波長が長いため、その吸収は比較的少ない。したがって、青色光の吸収が減少するため発光効率を向上できる。

【選択図】 図1

特願2003-055333

出願人履歴情報

識別番号

[000001889]

1. 変更年月日 [変更理由] 1993年10月20日

住所変更

住 所 氏 名 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

三洋電機株式会社